

SUPERBIKE

EXtra, EXpert and EXtreme

EXPRESS--

波乱の予選を制した加賀山就臣が今季初ポール! 開幕戦のリベンジを果たしたい高橋巧 虎視眈々と2連勝を狙う中須賀克行



全日本ロードレース選手権第2戦は、4輪のフォーミュラ・ニッポンと国内最高峰同士の競演となる鈴鹿2&4レース。開幕戦ツインリンクもてぎで負傷したV2チャンピオンの秋吉耕佑は、今回も欠場を余儀なくされゼッケン1不在のレースとなる。事前テストがなく迎えたレースウィーク初日は、高橋巧がトップタイムをマークし、中須賀克行、加賀山就臣と僅差で続いた。

土曜日に行われた公式予選は、波乱の展開となった。雨は止んだもののレイコンディションでセッションはスタートしたが、開始直後に2輪専用シケインで転倒者があり、マシンからはオイルがコース上に出してしまう。これが広範囲だったため、その処理に時間がかかり、このセッションはキャンセルされ予定からは大幅に遅れて30分間の計時予選で争われることになった。

この時間には、青空が広がり、ほぼドライコンディションでのタイムアタックとなった。ゼッケン71の加賀山を先頭に43台のマシンがコースイン。この加賀山に酒井大作、柳川明、出口修、中須賀と続いていたが、ダンロップコーナーで酒井が振られ、その直後にいた柳川が接触。柳川が転倒し、酒井もマシンにダメージを受けピットに戻る。柳川は幸い大きなケガはなく走ってピットに戻りスベアマシンで再びコースに復帰した。セッション終盤、少し早いタイミングで加賀山がタイムを出し、リーダーボードのトップに立つ。高橋もタイムアタックに入るが、シケインへのブレーキングでニュートラルに入ってしまうタイムロス。加賀山が今シーズン初ポールポジションを獲得した。「ライダー自身はも

ちろん、チームもダンロップさんも、開幕戦ツインリンクもてぎの反省をしたので同じことは繰り返さない。Team KAGAYAMAも2年目を迎え、ダンロップタイヤになるなど大きく変わった部分もありますが、みんなやる気に溢れているし、いい空気が流れているのでメチャクチャ楽しいですよ。全力で15周を戦います!と加賀山。

一方、僅差で2番手となった高橋は、「開幕戦に比べれば、事前テストもありませんでしたし、仕上がりは、まだまだですけれど、予選でよくなった部分は分かっているので、決勝で勝てるように頑張ります。前は、最後に抜かれてしまい悔しかったので、今回は僕が最後に前にいけるようにしたいですね」と自信をのぞかせる。3番手の中須賀は、「時間のない中では、いいタイムが出たと思います。今シーズンからブリヂストンタイヤになって、まだまだマシンの仕上がりは60%というところなので、僕自身がどう合わせられるかがカギですね。そう簡単にはいかないと思いますが、2連勝できるようにベストを尽くすだけです」とコメント。

ここまでの仕上がりをみると、加賀山、高橋、中須賀が一步抜かされている。しかし、柳川、ヨシムラから初参戦の津田拓也、そしてHondaのキット車で健闘する山口辰也などにもトップのペース次第ではチャンスがありそうだ。安田毅史、徳留和樹の鈴鹿レーシング勢、出口修、芹沢太麻樹のエヴァ勢などセカンドグループのバトルも熾烈を極めるだろう。スタンダードのBMW S1000RRに17インチタイヤの組み合わせで臨む酒井、約4年振りに全日本に復帰した辻村猛のチャレンジにも注目だ。

応援してくれているたくさんの方のためにも、明日はこのポジションをキープしたい、と語ったポールポジションの加賀山就臣



開幕戦もてぎの反省を活かしたレースをします、と2番手の高橋巧



マシンの仕上がりが早ければまずまずのタイムと言う中須賀克行が3番手

POLE POSITION INTERVIEW

2'07.255
#71 加賀山 就臣
Team KAGAYAMA



「30分という短いセッションの中を、エントリーしている全員で走るのでクリアラップを取ることは難しい状況だったので、コースインして2、3周目なら、それなりのタイムを出せると思っていました。今年は、Team KAGAYAMAとして2年目となりますが、タイヤを始め、いろいろ体制が変わりました。本当に多くの方が応援してくれているし、それがモチベーションになっています。その想いのおかげでポールポジションが獲れましたし、決勝でも予選と同じ場所にいられるように全力で頑張るだけです。僕はチャレンジャーですからね」

Rider on the 2nd GRID INTERVIEW

2'07.286
#634 中上 貴典
MUSASHI R/ハルク・プロ



「チームと予選は台数が多いので前の方からコースインしようと話していたのですが、ピットアウトしたら予想以上の多くのマシンが並んでいて、セッション最初は徐々に抜きながらペースを上げることができませんでした。マシンは、金曜の状態よりよくなっていますが、決勝に向けて、もう少しアベレージを上げられるように朝のウォームアップで詰めていきたいですね。開幕戦は、勝つことができなくて悔しい思いをしたので、今回は、一周一周考えながらレースをしたいと思っています。特にレース終盤は、落ち着いていきたいですね」

Rider on the 3rd GRID INTERVIEW

2'07.490
#21 中須賀 克行
ヤマハYSPLレーシングチーム



「まだマシンの仕上がりは60%というところなのでペースメーカーとしてレースを引っ張れる状態ではないですね。なのでレースがスタートしてから展開を考えていると思っています。開幕戦ツインリンクもてぎでは、ブリヂストンに変えた初戦で勝つことができましたし、インパクトのある勝ち方ができたと思っています。だからと言って今回も簡単に勝てるとは思っていませんし、可能性がある限り全力でプッシュしますよ! 予選のデータを元にタイヤに合うライディングができれば2連勝できると思います。前はスタートを失敗したので今回はしっかり決めたいですね」



BS12ch TwellV(トゥエルビ)は**全国無料放送!!**

「MFJ全日本ロードレース選手権第2戦
鈴鹿2&4レース」をダイジェストでお届け。

4月23日(月)20:00~20:55 ※各大会レース開催8日後に放映

○番組ホームページ: <http://www.twellv.co.jp/program/sports/index.html#spo60>

全日本ロードレースをライブ動画で楽しもう!!

今年も各大会でUSTREAMでのライブ配信を実施します!
サーキットビジョンと同じ監視カメラのリアルな映像でどこよりも早く生の臨場感をお楽しみいただけます。
USTREAMの配信に関する詳細は、ファンサイト <http://www.superbike.jp/> をご覧ください。

MFJ Live CHANNEL誕生! 迫力の映像をレーススタートから1時間後に配信!!

MFJ Live CHANNEL <http://www.mfj-livech.com/jrr/> ※決勝レースのみ